

無償資金協力「経済社会開発計画」引渡式
(アルメニア保健省への39台のトヨタ救急車の供与)

11月22日、無償資金協力「経済社会開発計画」の引渡式がエレバン市にある国立熱傷センターの中庭において行われ、39台の最新型トヨタ救急車をアルメニア保健省に供与しました。

新型コロナウイルス感染症対策を目的とした供与額4億円(約370万ドル)の本案件の交換公文は、2020年6月に日本政府とアルメニア政府との間で署名されました。

本式典は、ニコル・パシニャン首相、アナヒト・アヴァネシヤン保健大臣、福島正則駐アルメニア日本大使出席の下で行われました。また、日本側から米道律子クラウンエイジェンツ・ジャパン事業統括本部長、アルメニア側からティグラン・アヴィニャン・エレバン市副市長、ゲヴォルグ・シモニャン同市副市長、アルセン・トロシヤン国民議会議員・前保健大臣、ヴァヘ・グズラリヤン・トヨタ・エレバン社長、その他の政府高官及び関係者等が本式典に出席しました。

式典において、アヴァネシヤン大臣より歓迎の辞及び日本政府と日本国民への謝意が述べられました。続いて、福島大使がスピーチを行い、本案件の成功を祝しました。その後、アヴァネシヤン大臣がパシニャン首相をはじめとする政府高官等に救急車の装備を紹介しました。式典の最後には、福島大使からアヴァネシヤン大臣に救急車の鍵を贈呈しました。



福島大使によるスピーチ



アヴァネシヤン保健大臣によるスピーチ



パシニャン首相と福島大使との握手



福島大使からアヴァネシヤン大臣への鍵の贈呈



アヴィニヤン副市長によるスピーチ



式典参加者の様子



トヨタ救急車



救急車内部